

平成 23 年度 第 1 回石狩市行政評価委員会

日時：平成 23 年 4 月 15 日（金） 10 時 00 分～

場所：市役所 3 階 庁議室

企画經濟部 企画課

【会議次第】

1 開 会

(1) 委嘱状の交付

2 挨拶 石狩市長 田岡克介

3 議 題

(1) 委員長・副委員長の選任

(2) 今後の進め方

- ・ 行政評価制度の概要
- ・ 今年度のスケジュール

(3) 評価対象施策の選定

4 その他

5 閉 会

第1回石狩市行政評価委員会 提出資料

1	石狩市行政評価委員会委員名簿	P 1
2	委員会の概要	P 2
3	平成23年度スケジュール	P 5
4	施策別事務事業及び評価実施年度	P 7
5	石狩市行政評価委員会設置要綱	P 9

(別添資料)

- ・第4期石狩市総合計画（基本構想）
- ・第4期石狩市総合計画（戦略計画）
- ・平成22年度石狩市行政評価報告書
- ・平成22年度行政評価（施策・事業）の結果
- ・平成23年度施策評価シート
- ・平成23年度（平成22年度実施事業）事業評価シート

石狩市企画経済部企画課

1 石狩市行政評価委員会委員名簿

区 分	氏 名
非公募	(いwasaki yuzou) 岩崎 雄三
	(hasube kiyoshi) 長谷部 清
	(matsumi yoshitaka) 松井 義孝
公募	(hori hiroko) 堀 弘子
	(horiuchi hidetaka) 堀内 秀和

※敬称略

<事務局>

企画経済部企画課 松田、佐々木（大）、笠井

061-3292

石狩市花川北6条1丁目30番地2

電 話 72-3161

ファックス 72-3540

E-mail kikaku@city.ishikari.hokkaido.jp

2 委員会の概要

石狩市は、平成19年3月に第4期石狩市総合計画（戦略計画）を策定しました。今後は戦略計画に基づき、計画的にまちづくりを推進していく必要がありますが、そのためには施策評価の実施が不可欠です。

この戦略計画は、施策評価の実施を前提として策定されたものであり、各施策の目標を数値などで示していることから、成果重視の視点で各施策及びそれに関連する事務事業を評価することが可能なものとなっています。

以上のことから、石狩市行政評価委員会を設置し、19年度より市民目線による行政評価を実施しています。

（1）行政評価とは

近年、行政活動に対しては、その意図や内容などを市民に説明する責任（アカウンタビリティ）の確立、より効率的な行政運営の実現、成果志向への対応など、さまざまな課題が投げかけられています。行政評価は、こうした時代の要請を背景として、最近、多くの自治体で導入、あるいは導入に向けての検討が行われています。

行政評価には決まった方式はなく、各自治体がそれぞれ独自の取組みを展開していますが、共通する要素を簡単にまとめると、「行政の活動を一定の観点から評価し、その結果を次の活動に反映するための取組み」ととらえることができます。つまり、行政活動に「計画（P：プラン）→実行（D：ドゥ）→評価（S：シー）→次のプラン」というマネジメントサイクルを導入し、このサイクルを回していくことによって、行政活動のレベルを上げていく仕組みと考えることができます。

（2）石狩市における行政評価導入

石狩市においては、平成13年度から行政評価導入に向けての取組みを始めました。この取組みを開始するに当たり、次のような方針を立て、これに基づいて進めることとしていますが、この方針は必要に応じて修正していくこととしています。

ア 行政評価導入の目的と留意事項

【第1の目的】

市民と市とが共に市のあり方について考え、協働していくための基礎データを整理・提供すること。

このことから、石狩市の行政評価システムは、市民が理解しやすい評価方法とすること（例えば、市民への事業効果を重視したり、評価の基準を数値化したりするなど）、市民に分かりやすい公表方法とすること、市民意見を踏まえて評価を行う仕組みとするなどの要素を取り入れることが必要となります。

【第2の目的】

費用対効果の観点や社会的ニーズの変化を踏まえ、行政資源の適切な配分を図ること。

このことから、評価に当たっては、事業コスト（直接的な事業費だけでなく、事業に携わった職員の人件費なども含む。）を正確に把握すること、事業目的の合理性と目的達成の手段として、その事業内容が妥当性を持つかどうかの確認を行うなどのプロセスを踏むと同時に、評価結果を予算編成や市職員の定員管理にフィードバックする仕組みを導入することが必要となります。

【第3の目的】

業務の自己点検、業務目的の自己管理を通して、行政活動全般の底上げを図ること。

このことから、石狩市の行政評価には、事業担当課が自らの事業を評価し、その結果を踏まえて事業の目標を設定し、事業実施後にはその目標がどれだけ達成できたかをチェックするとともに、その原因を分析するという要素を取り入れることが必要となります。

イ 行政評価導入の手順

(ア) 評価の対象

一般に行政の活動は、政策－施策－事業の枝分かれ構造になっており、それぞれが下位の活動の目標となり、上位の活動の手段となるという関係になっています。また、行政活動には福祉、防災、経済、教育などさまざまな分野があります。

行政評価を行うに当たっては、これらのうちのどのレベル、どの分野の活動を評価の対象にするかを定める必要があります。石狩市では、最終的には行政活動の全分野について政策・施策レベル及び事業レベルの評価を実施しますが、市役所として評価技術を身に付けることや政策・施策レベルの評価に必要なデータを整理収集するという意味で、導入当初は事業レベルの評価から実施し、順次上のレベルの評価にとりかかるとしてしています。

(イ) 評価の方法

評価のタイミングとしては、大きく分けると事前評価と事後評価に分かれますが、石狩市においては、事業実施後にその実績と効果に基づいて評価し、次の目標を設定する事後評価を基本とし、政策・施策レベルの評価については、実施前に有効性の予測と成果目標の設定を行うこととしています。

(3) 評価の視点

行政評価は、行政が自ら事業の評価を行い、その結果を踏まえて行政活動を見直し、その進め方を改善するための仕組みです。しかし、行政が自ら行う内部評価は、主観的な評価になりがちなことから、行政評価委員会は行政が行う内部評価に対して、客観的立場に立って市民の視点から評価を行います。

施策が目指す目標に対して関連事業は本当に有効な事業となっているのか、費用対効果や施策に対する貢献度から見て本当に必要な事業といえるのか、施策の成果を向上させる取り組みとして不足しているものはないか等様々な角度から検証します。

また、戦略計画の後期見直しに向け、成果指標の見直しや新たな目標値の設定についても検討します。

3 平成23年度スケジュール

	行政評価委員会	施策評価	事業評価	備考
4月	第1回委員会 (4/15)	評価シート作成	評価シート作成	
5月	① 評価シートの送付			
	② 第2～5回委員会			
6月	③ (施策評価シートの作成)			定例会
	④ 第6回委員会			
7月	⑤ 第7～12回委員会	パブリックコメント ※広報7月号		
8月	⑥ 第13～15回委員会			
	⑦ 市長報告			
9月			2次評価 (部長)	定例会
		最終評価 (行政評価会議)		
10月				予算編成 作業

① 評価シートの送付

第1回委員会で選定した「施策」及び関連する各種「事業」の評価シートを事前に送付します。

送付した評価シートの中で事業の詳細や取組み状況について、シートから読み取れない内容の確認や質疑事項などの最終的な指摘事項等を想定した「評価意見(案)」もしくは「確認事項」を事前(評価委員会開催2日前まで)に、事務局に通告していただきます。

(第2回委員会でヒアリングを実施する施策につきましては、評価シートの送付までには、お知らせいたします。)

② 第2回～5回行政評価委員会

第1回委員会で選定した施策に関連する各種事業について、関係部局(課長職)とのヒアリングを実施します。ヒアリングの実施にあたっては、各委員から事前通告のあった「評価意見(案)」等への所管部局の回答などを整理し、ヒアリング当日に各委員に配布します。

③ 施策評価シートの作成

第5回委員会までのヒアリングを終えた後、各委員による施策評価シートを作成していただき、課題や評価ポイントの抽出を行います。

④ **第6回行政評価委員会**

各委員に作成していただいた評価シートをもとに、第7回から行う関係部局（部長職）とのヒアリングに向けた課題や評価ポイントの共有を図ります。

⑤ **第7回～12回行政評価委員会**

最終的に施策評価シートをまとめるための担当部長ヒアリングを行います。

⑥ **第13回～15回行政評価委員会**

最終報告書の取りまとめを行います。

⑦ **市長報告**

「平成23年度 石狩市行政評価報告書」により、評価結果を市長に報告。

4 施策別事務事業数及び評価実施年度

・ 5つのめざすまちのテーマ（31施策）

(H23.3.31現在)

安全・安心・快適なまち		事業	19	20	21	22	元気で活力あるまち		事業	19	20	21	22			
テーマ1	1 道路網の整備	6				●	テーマ3	1 農林業の振興	31				●			
	2 除排雪対策の充実	3			●			2 水産業の振興	15		●					
	3 公共交通環境の充実	5						3 商工業の振興と創業・起業の促進	14			●				
	4 情報通信網の整備	2						4 観光の振興	7							
	5 上・下水道の整備	11			●			5 石狩湾新港地域の振興	3				●			
	6 住宅・住環境の整備	12		●				6 雇用・勤労者対策の推進	4			●				
	7 消防・防災体制の充実	4				●	テーマ4	豊かな自然を守り育てる				事業	19	20	21	22
	8 生活安全・交通安全対策の充実	7			●			1 環境施策の推進	7			●				
	9 消費者対策の推進	3			●			2 公園・緑地・水辺の整備	12							
健康でしあわせに暮らすまち	事業	19	20	21	22	3 資源循環型社会の実現		12		●						
テーマ2	1 保健・医療の充実	27					4 景観づくりの推進	1								
	2 高齢者福祉の充実	49		●			心豊かに学び活動する				事業	19	20	21	22	
	3 子育て支援の充実	37				●	1 生涯学習の推進	16		●						
	4 障がい者福祉の充実	19			●		2 学校教育の充実	39			●					
	5 地域福祉の充実	10			●		テーマ5	3 青少年の健全育成	6							
	6 社会保障の充実	14			●			4 芸術・文化の振興	13				●			
						5 スポーツ・レクリエーションの振興		13	●							
							6 国内・国際交流の推進	3			●					

・ 3つの原則（9施策）

（H23. 3. 31 現在）

健全な行財政運営		事業	19	20	21	22	地域の輝きを大切に		事業	19	20	21	22
原則1	財政基盤の強化	25					原則3	個性ある地域の発展	6				
	行政経営の改善	6						コミュニティ活動の維持・強化	10	●			
	広域行政の適切な活用	1						適切・計画的な土地利用	4				
一人ひとりが主人公		事業	19	20	21	22							
原則2	まちづくりへの市民参画・協働	2											
	情報公開と情報共有の推進	7											
	男女共同参画の推進と人権の尊重	2											

※ 事業⇒事務事業数（H23. 3. 31 現在）

※ ●はその年度に評価を実施した施策

《未評価の施策》

【テーマ1】

- ・ 3 公共交通環境の充実 事務事業数 5 事業
- ・ 4 情報通信網の整備 事務事業数 2 事業

【テーマ2】

- ・ 1 保健・医療の充実 事務事業数 27 事業

【テーマ3】

- ・ 4 観光の振興 事務事業数 7 事業

【テーマ4】

- ・ 2 公園・緑地・水辺の整備 事務事業数 12 事業
- ・ 4 景観づくりの推進 事務事業数 1 事業

【テーマ5】

- ・ 3 青少年の健全育成 事務事業数 6 事業

計 7 施策 60 事業（H23. 3. 31 現在）

5 石狩市行政評価委員会設置要綱

平成 19 年 3 月 30 日

要綱第 36 号

(目的)

第 1 条 この要綱は、有識者及び市民で構成する石狩市行政評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置することにより、客観性及び透明性の高い行政評価を行うことを目的とする。

(所掌事務)

第 2 条 評価委員会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 市役所外部の視点に立って行政評価を実施すること。
- (2) 前号の評価対象の選定に関すること。
- (3) 行政評価制度の改善に関すること。
- (4) その他市長が必要と認める事項に関すること。

(委員)

第 3 条 評価委員会の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱した 5 人以内とする。

- (1) 市政について優れた見識を有する者
- (2) 市内に居住する者のうちから市長が公募した者

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、委嘱日から当該委嘱日の属する年度の翌年度末までとする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 評価委員会に委員長及び副委員長を各 1 人置き、委員長は委員の互選、副委員長は委員長の指名により定める。

- 2 委員長は、評価委員会の会議の議長となり、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 評価委員会は、必要に応じて委員長が招集する。

- 2 評価委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 評価委員会の会議は、公開する。

(関係職員の出席)

第 7 条 委員長は、必要に応じて会議に関係職員の出席を求めることができる。

(庶務)

第 8 条 評価委員会の庶務は、企画経済部において処理する。

(その他)

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、評価委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が評価委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 19 年 10 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	
めざすまちのテーマ等			職名	
施策項目			氏名	
			TEL	

【1 施策の目的】

【2 計画策定時の状況】

【3 成果指標】

	指標の名称					単位	H17実績値	H23目標値
指標1								
指標2								
指標3								
指標4								
	H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23目標値に 対する達成状況	H17実績値 との比較	
指標1								
指標2								
指標3								
指標4								

○到達、×未達 ○向上、×低下

【4 現状把握と今後の方向性】

(1)現状の評価と課題

(2)施策を取りまく状況の変化(社会環境の変化、住民、議会等からの要望等)

(3)今後の取り組み方針(改善・改革の方向性)

【5 パブリックコメント】

--

【6 行政評価委員会意見】

(1)現状の課題認識に関する意見
(2)今後の方向性に関する意見
(3)施策等に関する評価意見

【7 行政評価会議（最終評価）】

(1)重点的に取り組む事項（新に取り組む事業、規模拡大を図る事業等）
(2)見直しすべき事項（廃止、縮小、統合、改善を図る事業等）
(3)その他特記事項

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	-	事業名								
総合計画	マ									
	策									
	施策(小)									
平成23年度担当	所管		課長		担当		電話		内線	
平成22年度担当	所管		課長		担当					
予算科目	会計	(款 項 目)			事業名					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	
	→	対象数
	→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)	
	→ 成果指標	
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)	
→ 活動指標		
④事業実施の背景・個別計画等		
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		

		単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			
		道支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円			
	小計(A)		千円	0	0	0
人件費等	正職員従事人数(担当課)		人			
	正職員()		人			
	従事正職員の人件費		千円	0	0	0
	その他間接経費		千円			
	小計(B)		千円	0	0	0
総コスト(A)+(B)		千円	0	0	0	

事業費の使途等	
---------	--

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
		達成率					
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
		達成率					

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	達成 概ね達成 達成していない	効率性 妥当性	費用対効果の視点での検証	高い 概ね効率的 低い	
	成果の向上余地	かなりある 多少ある さほどない			事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい 小さい ない
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行通り <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="radio"/> その他				
	事業コスト	<input type="radio"/> 増加 <input type="radio"/> 現行水準 <input type="radio"/> 減少 <input type="radio"/> 予算なし <input type="radio"/> その他				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)						
市民意見等に対する回答	担当部長					
	反映					
	一部反映					
	不採用					
	実施済み 参考					
有効性	事業の成果についての検証	達成 概ね達成 達成していない	効率性 妥当性	費用対効果の視点での検証	高い 概ね効率的 低い	
	施策への貢献度からみた優先度	極めて高い 高い 高くない			事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい 小さい ない
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行通り <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="radio"/> その他				
	事業コスト	<input type="radio"/> 増加 <input type="radio"/> 現行水準 <input type="radio"/> 減少 <input type="radio"/> 予算なし <input type="radio"/> その他				